

氏名	土井原 博 義		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	博 乙 第 2086 号		
学位授与の日付	平成 2 年 3 月 28 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学位論文題目	核 DNA 量による乳癌の悪性度判定ならびに内分泌療法の作用機序の研究 —Flow cytometry による解析—		
論文審査委員	教授 折田薫三	教授 赤木忠厚	教授 関場 香

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

Flow cytometry (FCM) により乳癌手術例 105 例と術前 Medroxyprogesterone acetate (MPA) 投与 12 例の核 DNA 量を測定し、乳癌の悪性度および MPA の乳癌 cell cycle に及ぼす影響を検討した。その結果、DNA Index と臨床病理学的因子の間には明らかな相関はみられなかったが、DNA ヒストグラムにおける S 期および Proliferation Index (PI) においては有意な相関がみられた。従って、FCM は乳癌の悪性度判定に有用な検査であり、また術前あるいは術後の補助療法のなんらかの指標になるのではないかと考える。

また術前 MPA 投与群では非投与群に比べて $G_0 + G_1$ 期が増加し、S 期および $G_2 + M$ 期の減少がみられた。特に ER (+) および閉経前症例においては有意な差がみられた。従って、MPA は cell cycle の面では G_1 期あるいは G_1 から S 期への Ploidy reduction 作用があり、これにより DNA 合成や細胞分裂を阻害するものと考えられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

癌の予後因子として、最近核の DNA 量が測定されている。本研究者は乳癌手術例 105 例と術前 Medroxyprogesterone acetate (MPA) 投与 12 例の核 DNA を Flow cytometry (FCM) で測定している。DNA index と組織学的悪性度との間には相関がないが、DNA ヒストグラムにおける S 期と Proliferation index には相関のあること、MPA は $G_1, G_1 \rightarrow S$ 期への ploidy reduction の作用のあることも明らかとし、FCM は乳癌の予後判定に有用なこと、術後の補助療法の指標となることをしめし、臨床上重要な知見をえたもので、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。